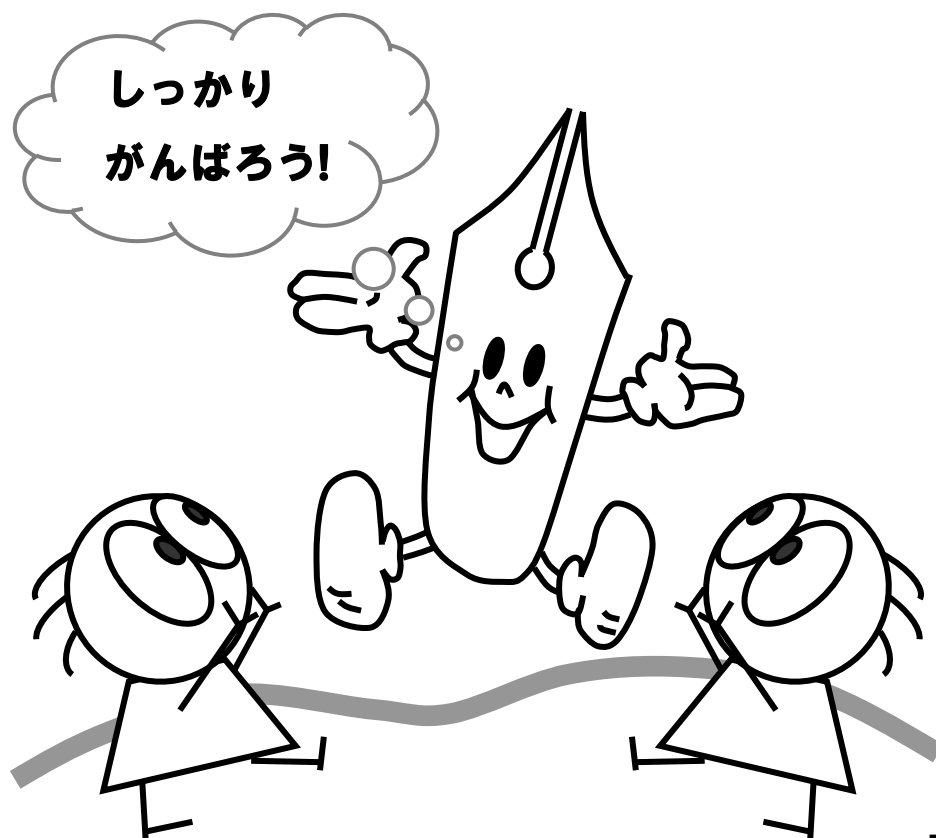


2024年 前期

『学習の進め方』

— 6年生 —



国 語	
テキスト内容と 授業の進め方	<p>「学びのひろば」「学びのとびら」「読む★ナビ」</p> <p>学習する単元やその回のポイントが説明されています。授業の動画を見る前に読んでおくと学習の理解が深まります。</p> <p>「文章を使って1」</p> <p>動画では「文章を使って1」を使ってその回のテーマと文章内容についての講義を行います。しっかり見て読解方法をマスターしてください。</p> <p>動画の問題解説では、自分の答えや考え方とくらべて、なぜその答えが正解になるのかを理解するようにしてください。</p> <p>オプションは、「探求」か「シナジー」のいずれかを取り上げて解説する場合があります。難しい問題もありますが、指示に合わせて取り組んでみましょう。</p> <p>「文章を使って2」</p> <p>応用問題です。文章を使って1の解説に続いて説明していますが、時間に余裕のある時に視聴するようにしてもらって、先に「読む」「書く」ツールに進めても構いません。学んだ内容を意識しながら取り組んでみましょう。</p> <p>「『読む』『書く』ツール」</p> <p>語句・文法を体系的に学習します。単元ごとにしっかりと知識を身に付けていてください。動画ではテーマに沿った問題を中心に解説しています。時間に余裕があれば動画であつかわなかった問題にも取り組んでみてください。</p> <p>なお、テキストには問題の答えを書きこむためのスペースが設定されていますが、6年生の学習では、できる限りノートを使って取り組みましょう。(どこを間違えたのかなど、後のふり返しもしやすくなります。)</p>
家庭学習内容と 学習の進め方	<p>最初に動画であつかった問題の復習をしてください。間違えた問題について、なぜその答えになるのかをよく考えてください。</p> <p>「栄冠への道」</p> <p>まず「思い起こし①②」にチェックを入れながら、授業で学んだことをふり返ってみてください。その後、「学び直し①」を使って、授業で学んだことをふり返りながら、問題に取り組んでいきます。②の文章題が本科テキストと同じような問題構成で出題されています。「『読む』『書く』ツールで学んだことを使ってみよう」は語句の復習になるのでしっかり取り組みましょう。</p> <p>問題を解き終わったら、必ず答え合わせと間違い直しをしておいてください。</p> <p>「学び直し②③」は応用問題です。時間に余裕があれば取り組んでみましょう。こちらもできる限りノートを使って取り組みましょう。</p> <p>「計算と漢字」</p> <p>3～4日に分けて練習してください。漢字の形を覚えるだけでなく、読み方や使い方も理解してください。</p> <p>【テスト直し】</p> <p>「学力チェックテスト」や公開模試など、テストを受ける機会があれば、間違い直しにも取り組みましょう。文章を読み直し、解き方を確認したり、漢字・語句の覚え直しをしたりすると効果的です。</p>

算 数	
テキスト内容と 授業の進め方	<p>「本科教室」は、「学びのひろば」「学びのとびら」「学び」「やってみよう」「私ができる知識・技術であることを確認する」「私を使いたい思考技法を選んで使ってみる」「オプション 探究・シナジー」の構成となっています。</p> <p>「学びのひろば」は大きな単元ごとに、「学びのとびら」は各回に、学習内容と実感しやすい身の回りのものなどを結びつける導入部分です。時間があれば、読んでみてください。日能研の授業やweb 授業では、扱っていません。</p> <p>「学び」は先生が問題の解き方を説明する部分です。「私ができる知識・技術であることを確認する」の問題を解くことによって、解法を理解していきます。</p> <p>「私を使いたい思考技法を選んで使ってみる」はその単元の応用問題となっています。表題のとおり、今まで学んだことを組み合わせて解いていきましょう。</p> <p>「オプション 探究・シナジー」はその単元の理解をさらに深める課題が収録されています。「探究」は個人で課題に取り組み、「シナジー」は仲間とともに課題に取り組みことを前提としています。</p> <p>Web 授業では、「学び」と「私ができる知識・技術であることを確認する」を中心に扱います。</p>
家庭学習内容と 学習の進め方	<p>「栄冠への道」が学習内容の練習と理解の確認を行う教材です。</p> <p>(1)「思い起こし」は 「①授業での自分を思い出してみよう」 「②授業での自分を思い出すときの手がかりにしてみよう」 の2つの部分からできています。</p> <p>「思い起こし②」は授業内容をふり返ることができるようにまとめが収録されています。家庭学習を進めていく上で、よくわからないときは、もう一度、授業映像を見直してみるか、「思い起こし②」をよく読んでみてください。</p> <p>(2)「学び直し」は 授業で学んだ内容を確認する問題です。「学び直し①」は本科教室「私ができる知識・技術であることを確認する」の対応問題になっています。これらの問題はしっかりと取り組みましょう。「学び直し②」は研究課題です。日能研の授業でも、課題になることはありません。「学び直し③」は応用的な内容を含んだ問題が収録されています。メールマガジンで各回の学習を進める目安をお伝えします。得意な単元やよく理解できている単元では、よりレベルの高い問題にチャレンジしてみましょう。</p> <p>なお、「学び直し③」の理解を深めるために、解説動画もあります。こちらも参考にしてください。</p> <p>「栄冠への道」の他に、「計算と漢字」という教材があります。これは、直接、学習回の内容とは関係がありませんが、算数の基本は言うまでもなく、計算です。計算ミスが多い場合や計算のスピードが遅い場合など取り組んでください。</p>

理 科	
テキスト内容と 授業の進め方	<p>【学びのひろば】 ものごとの考え方を身近な例と共に学ぶものです。</p> <p>【学びのとびら】 本文に向けての導入となっています。</p> <p>【本文】 各回の学習内容が詳しく書かれています。授業(動画)では、本文中の図やグラフ・表をもとに、講義形式で解説していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ やってみよう：各回の内容の理解を助ける、簡単な練習問題です。本文内容の確認に役立ててください。 ・ 素材と出あおう：本文の内容に関連した、中学入試で取り上げられることの多い知識をまとめています。宿題で知らないことが書いてあるとき、この部分も探してみましょう。 <p>【オプション】 知識や考え方を身につける方法を学習するための課題です。 <探究><シナジー>の2種類があります。それぞれ異なる視点から、授業で学んだ知識の確認と整理を行います。授業(動画)では<探究>を扱うことがあります。</p> <p>【素材の宝石箱】 学習した単元に関連した、やや難しい内容の読み物です。テスト範囲ではありません。</p>
家庭学習内容と 学習の進め方	<p>① テキスト本文の読み直し</p> <p>読み直すときは、絵や図、グラフをしっかりと確認しながら読みましょう。できれば音読してみましょう。</p> <p>オプションは、授業内容をさらに深く理解するのに役立つ問題です。オプションを解くときには、オプション探究を中心に取り組んでください。</p> <p>② 栄冠への道</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 思い起こし：授業を思い出すための読み物です。問題を解く前に読み、<input type="checkbox"/>にチェック✓を入れましょう。 ・ 学び直し：指定された範囲の問題を解きましょう。問題の数が多いので、必ず解いてみよう・さらに深く学ぼう・この問題にチャレンジの3段階に分かれています。まずは、必ず解いてみようを解いてみましょう。もう少し練習をしてみたいときには、さらに深く学ぼうを、応用問題に挑戦したいときには、この問題にチャレンジを解いてみましょう。 <p>わからないときは、解答を見て、なぜ、そのような答になるのかを考えましょう。解説があるときは、解説もよく読んで、理解を深めることが大切です。</p> <p>解いたら、すぐに答え合わせをしましょう。まちがえた問題があれば、テキストや授業ノートを確認しながら、解き直してみましょう。</p> <p>「オプション」「栄冠への道」の丸つけをする時に、まちがえた問題にチェック✓を入れておくと、復習するときに役立ちます。</p>

社 会	
テキスト内容と 授業の進め方	<p>・授業の進め方とWeb 授業の受け方</p> <p>「社会ノート」「宿題用ノート」を準備してください。</p> <p>動画では黒板に重要事項が写されます。とくに先生から「ノートに書くように」という指示はありませんが、タイミングをみて「社会ノート」にある「演習ノート」を使い、空所補充に取り組みましょう。大事な、と思うことは「学習メモ」に、書き残していきましょう。</p> <p>・テキスト内容について</p> <p>「学びのひろば」「学びのとびら」</p> <p>各回の学習のねらいが書かれています。とくに「学びのとびら」はよく読んでおきましょう。</p> <p>「本文」</p> <p>①～に各回の学習内容が詳しく解説されています。Web 授業は、黒板を使って講義形式で解説します。</p> <p>「やってみよう」</p> <p>テキストに書き込んで確認しましょう</p> <p>「社会探検」</p> <p>その回に関連する、歴史的背景や時事的なことがらなどについて示されています。動画でふれられたものや興味のあるものは読んでおきましょう。</p> <p>「オプション」</p> <p><探求> 個人で課題に取り組む形式です。テキスト本文に関連させ、さらに考えて解答を作成する内容になっています。余裕があれば取り組んでみましょう。</p> <p><シナジー> 仲間とともに課題に取り組む形式です。</p> <p>時間があれば、問題を読んで考えてから解答をみてください。いろいろな解答が考えられます。頑張って考えてみましょう。</p>
家庭学習内容と 学習の進め方	<p>①最初に本科テキストをしっかりと見直しましょう（復習はとても大切です）。</p> <p>②「栄冠への道」</p> <p><思い起こし></p> <p>よく読んで、授業を思い出しながらチェックしていきましょう。</p> <p><学び直し①> 授業での自分を思い出しながら取り組んでみよう</p> <p>「栄冠への道」に直接書き込んで知識を定着させましょう。</p> <p><学び直し③> 演習</p> <p>この部分は「宿題用ノート」を準備して、そのノートに答えを書いてください。そののち、解答をみてマルつけ、間違い直しをしてください。</p> <p><学び直し②> 研究してみよう</p> <p>この部分は問題を読んで考えてから解答をみてください。</p>

※授業回に応じて、その都度「地理資料集」「日本史資料集」「日本国憲法」を参照するようにしましょう。

※「社会ノート」「宿題用ノート」を準備してください。